

製品名: PERK ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00457

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 125 kDa; Observed MW: 125 kDa

抗原情報

遺伝子名	EIF2AK3
別名	EIF2AK3; PEK; PERK; Eukaryotic translation initiation factor 2-alpha kinase 3; PRKR-like endoplasmic reticulum kinase; Pancreatic eIF2-alpha kinase; HsPEK
遺伝子 ID	9451
SwissProt ID	Q9NZJ5
免疫原	ヒト PERK の組み換えタンパク質

背景

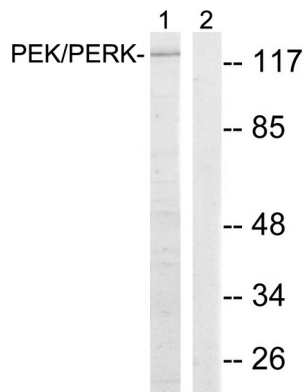
代謝ストレスを感知するタンパク質キナーゼ。小胞体タンパク質応答 (UPR) 時およびアミノ酸利用率の低下に反応して、真核生物

翻訳開始因子2 (eIF-2-alpha/EIF2S1) の α サブユニットのSer-52をリン酸化します。リン酸化eIF-2-alpha/EIF2S1は、タンパク質合成全般を阻害する因子(アミノ酸の全体的利用を低下させる)または転写活性化因子ATF4などの特定のmRNAの翻訳開始活性化因子(ATF4を介したアミノ酸生合成遺伝子発現の再プログラミング)に変換され、栄養枯渇を緩和します。サイクリンD1 (CCND1)の喪失による小胞体タンパク質応答(UPR)誘導性G1期成長停止の重要なエフェクターとして機能します。ミトコンドリアの形態と機能の制御に関与しています。

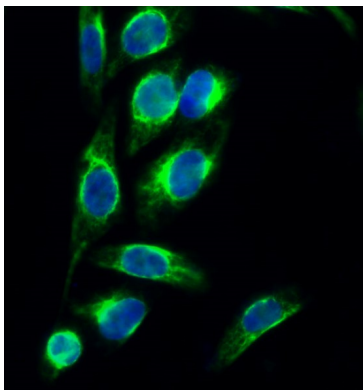
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

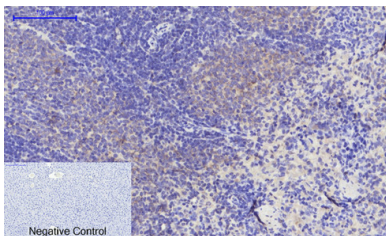
画像データ



PERK抗体を用いたMCF-7ライセート中のPERKのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PERK抗体(緑)を用いたHela中のPERKの免疫蛍光分析



PERK抗体を使用したパラフィン包埋マウス肺組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウムpH 6.0を使用しました。